

については、先月、準備組合が事業計画案を策定し、組合設立の認可申請書を東京都に提出しました。認可を受け次第、設立される再開発組合が、権利変換計画の策定を進めていきます。区は引き続き、事業を支援していきます。また、補助232号線の再開発事業区域から富士街道までの区間についても、併せて事業を進めていきます。

大江戸線延伸について、都交通局は、将来の旅客需要分析、車両編成数や留置施設などの調査・検討を行います。区は、早期事業化に向けて都との協議を進めるとともに、新駅予定地周辺で、地域の皆様と、延伸を見据えたまちづくりの検討を更に進めていきます。

都市の防災機能を強化し、安全で快適な歩行空間を確保するため、平成29年度に「練馬区無電柱化推進計画」を策定しました。現在、歩道の狭い既存道路におけるモデル事業2路線に加え、都市計画道路7路線、生活幹線道路4路線で取り組んでいます。今後、路線の更なる拡大を目指していきます。

●練馬のみどりを未来へつなぐ

みどりは、練馬区の大きな魅力であり、快適な都市生活を支えている大切な都市基盤です。昨年度実施した「みどりの実態調査」の結果、公園など公共のみどりは増えていますが、民有のみどりは引き続き減少し、区全体では減っていることが分かりました。これまで以上に、公共のみどりを中心に、みどりのネットワークの形成を進めることが必要となっています。同時に行った区民アンケートでも、公園や緑地の更なる整備を求める意見が6割を超えています。

稲荷山公園と大泉井頭公園は、白子川を軸とするみどりのネットワークの拠点となる都市計画公園です。この度、「稲荷山公園基本計画(整備イメージ)」を策定しました。引き続き、実施計画の策定に着手します。大泉井頭公園は、来年度の基本計画策定を目指し、関係機関との調整を進めます。両公園とも、規模が大きく、整備には長い期間を要します。事業の節目ごとに権利者の方々の意見を伺いながら進めていきます。



区民と協働してみどりを守り育てます

練馬城址公園は、石神井川を軸とするみどりのネットワークの拠点となる都市計画公園です。ハリリー・ポッター・スタジオツアー東京のオープン時には、現在よりもみどりが豊かな空間となります。引き続き、区の求める「緑と水」「広域防災拠点」「にぎわい」の機能を備えた公園の実現に向け、整備主体である東京都や関係者と調整を進めます。

本年は、日本の植物分類学の父と呼ばれ、練馬区名誉区民でもある牧野富太郎博士の生誕160年にあたり、NHK連続テレビ小説の来春放送も決定しています。区では、高知県立牧野植物園との連携事業を展開しており、先月、博士ゆかりのヒメアジサイの記念植樹を行いました。来月からは、県立植物園が所蔵する、博士が描いた植物図や収集した蔵書による特別展を開催します。

●脱炭素社会の実現に向けた総合的な環境施策の展開

区は本年2月、2050年の二酸化炭素実質排出ゼロを目指す、ゼロカーボンシティを表明し、実現に向けて計画を策定することとしました。ロシアによるウクライナへの侵略により、世界的にエネルギー需給の見通しが不透明となっているなかですが、区民の皆様や事業者と協働して地球温暖化対策を進めます。

いきいきと心豊かに暮らせるまち

●産業振興、商店街振興

コロナ禍により、事業活動におけるデジタル化が進んでいます。

4月から、練馬ビジネスサポートセンターで、デジタル化に関する専門相談や融資を開始しました。事業者の販路拡大を支援する商談交流会を充実し、来月にはオンライン形式を導入して開催します。

「スマート商店街プロジェクト」の準備を進め、キャッシュレス決済の導入やSNS等を活用した魅力発信を推進します。先月、練馬区商店街連合会の30%プレミアム付商品券の募集を行い、約2.5倍の申込みがありました。来月6日から商品券が利用出来ます。

●都市農業施策

練馬区の魅力である都市農業を振興し、多面的な機能を持つ都市農地を保全しなければなりません。

世界都市農業サミットに続く、来年11月の「(仮称)全国都市農業フェスティバル」では、都市農業の魅力のアピールするとともに、畑にすき込むことが出来る農業用シートの使用促進、生産緑地貸借制度の活用事例などを発信します。今年度は、参加都市の招聘などの準備に取り組みます。

野菜の収穫体験を実施している農園を、果樹あるファームのようにブランド化します。来年度の開始に向け準備を進めます。

農業者と障害者施設のマッチングを進めるため、練馬区障害者就労支援センターの仲介により障害者施設が農作業や加工・販売作業を受注する仕組みを構築しました。その結果、令和元年度に7カ所だった障害者施設数が、3年度には12カ所に増加しました。引き続き、農福連携を進めていきます。

●都市文化とスポーツを楽しめるまち

都心に行かずとも、みどりの中で優れた文化芸術を楽しめるまち、身近な場所で誰もがスポーツを楽しめるまちを実現します。

美術館は、「まちと一体となった美術館」「本物のアートに出会える美術館」「併設の図書館と融合する美術館」をコンセプトに、練馬独自の新しい美術館を創造するため、サンライフ練馬の敷地とあわせて全面改築します。来月、設計候補者選定委員会を設置し、基本設計に着手します。また、中村橋駅周辺のまちづくりを進めるため、地域の方々を中心に構成する検討組織の設置に向け、準備を進めています。

「これからの図書館構想」を策定します。地域社会の知の基盤となる情報拠点を目指し、今月、素案をお示しします。区議会並びに区民の皆様からご意見を頂き、11月に成案化する予定です(4面参照)。

ハリリー・ポッター・スタジオツアー東京の来年オープンに向けて、魔法をテーマにしたイベントや事業を実施し、機運醸成に取り組みます。また、練馬アニメーションサイトと特設ホームページ「映像∞文化のまち ねりま」を本年10月に統合し、区ゆかりの映画俳優による対談動画「ねりま映画サロン」などのコンテンツを更に充実します。「映像∞文化のまち構想」に基づき、映画・アニメなどの情報を幅広く発信するなど、ソフト・ハードが一体となった夢のあるまちづくりを進めます。

石神井松の風文化公園の拡張整備に向けて、都市計画事業認可の手続きを進め、フットサル・テニス兼用コートやスケートボードが出来る広場の整備に取り組みます。

障害の有無にかかわらず身近な場所でスポーツを楽しめるよう、今年度は、ユニバーサルスポーツフェスティバルを各地域で分散して開催し、ポッチャ体験会やパラスポーツ教室などを実施します。

区民とともに区政を進める

●町会・自治会等への支援

区政最大のパートナーである町会・自治会の

活動を支援するため、加入促進や広報活動にSNS等を活用出来るよう、先進的な取組みをまとめた実践事例集の作成や講習会の実施、アドバイザーの派遣を行います。また、通信回線使用料の補助を開始します。

「練馬つながるフェスタ」の地域開催や、クラウドファンディングの活用に向けたノウハウの提供などにより、地域活動団体の事業基盤を強化していきます。



区内6カ所で開催する「練馬つながるフェスタ」

●窓口改革

新型コロナの感染拡大防止と区民の更なる利便性向上のため、キャッシュレス決済を拡大します。

今月から、国民健康保険料に加え、住民税、保育料、介護保険料などの口座振替手続きをスマートフォンやパソコンで出来るようにしました。9月から、区民事務所など11カ所の窓口で、住民票や印鑑証明書など各種証明書の手数料の支払いに、クレジットカードや電子マネー等を使えるようにします。

また今月27日、本庁舎2階におくやみコーナーを開設します。戸籍謄本の請求や各種保険証の返却などの手続きをワンストップで受け付けます。何枚もの書類に住所や氏名を書かないで済むよう、各種申請書を一括して作成し提供します。併せて、年金や相続に関する関係機関をご案内します(4面参照)。

おわりに

我が国では、少子高齢化・人口減少により経済活力が失われ、国際競争力が低下するなかで、赤字国債の発行を重ねた結果、債務残高が1,200兆円を超える危機的な状況となっています。

コロナ禍に加え、ロシアによるウクライナ侵略によって、世界全体の生産・供給体制が大きな影響を受けるとともに、日本の海外への資源依存という弱点が浮き彫りになり、円安の進行もあって、更なる物価の上昇が懸念されています。

私は、今回の侵略が、日本経済が大きな転換点に向かう引き金になるのではないかと感じています。日本がこの先どうなるのか、不安を覚えているのは私だけではないと思います。

私は、生涯をかけて行政に従事してきました。行政は、目先の受け狙いや、小手先の誤魔化しであってはならない、根本的、長期的な視点に立って、行政を常に変えていかなければならない、これは私の信念であり確信です。

区長に就任して8年、区民の皆様にお約束した「改革ねりま」を推進し、全国自治体を先導する理想の自治体行政を実現しようと、様々な分野で数多くの「練馬区モデル」を構築し、全身全霊で取り組んできました。コロナ禍においても、奇を衒うことなく将来につながる施策を重点的・機動的に実施してきたつもりです。これまでの政策を継続、発展させることが、練馬区の未来を拓くことにつながると信じています。

ただ残念なのは、コロナ禍にあって、区民の皆様とひざ詰めで話し合う機会がなくなってしまったことです。今後は、コロナの動向を注視しながら、「未来を語る会」を再開し、区民との協働で区政を更に前に進めたいと考えています。

子どもから高齢者まで、誰もが心豊かに暮らせるまちを創りたい、我がまち練馬をもっと前に進めたい、そのために、区民の皆様にお約束した「改革ねりま第Ⅲ章」を必ず成し遂げる。固く心に決めています。こうした取組みを具体化するため、新たなプランの作成に向けて、準備に着手します。引き続き、区民の皆様、区議会の皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。